

水害から命を守る

指定緊急避難場所

全国初

境町水害避難タワー



平成 27 年 9 月、境町を襲った関東・東北豪雨災害を忘れない...



立地条件・交通

- 高速で成田空港まで約 1 時間
- 関東平野のほぼ中央
- 茨城県の南西部
- 水戸まで約 100km
- 東京都心まで約 50km
- 東経 139 度 47 分
- 北緯 36 度 06 分
- 面積 46.59 km²
- JR 古河駅からバスで 40 分
- 東武動物公園駅からバスで 40 分

成田空港まで直行便で約 1 時間



境 町

高 速 バ ス

成田空港

7 便

9 便



Ibaraki prefecture

境 町
S A K A I



〒 306-0495

茨城県猿島郡境町 391-1 境町役場

電話 0280-81-1300



www.town.sakai.ibaraki.jp

こ あ い さ つ

町民の皆様の安全・安心と防災意識の向上を目指して



このたび、全国初となる「境町水害避難タワー」が無事に落成式を迎えることができましたのも、国、県をはじめ関係各位のご尽力の賜物と心より感謝申し上げます。

当タワーは、平成27年9月に発生した関東・東北豪雨の水害を教訓として、利根川決壊等の大規模水害が発生した場合、指定避難所まで徒歩避難が難しかった境地域の新たな指定緊急避難場所として建設いたしました。この水害避難タワーの完成により、万が一、

逃げ遅れた場合でも、町民の皆様に最も身近な役場を目指して緊急避難し、ここから、安全な避難所へ移動することが可能となります。

町民の皆様には、防災訓練などを通じて慣れ親しんでいただき、防災意識の向上と安全・安心を実感していただきたいと考えております。

今後とも町民の皆様の安全・安心の確保に全力で努めて参る所存でございますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

境町長 橋本 正裕



境町水害避難タワー事業概要

防災拠点となる役場敷地内に約1,000人を収容できる水害避難タワーを建設

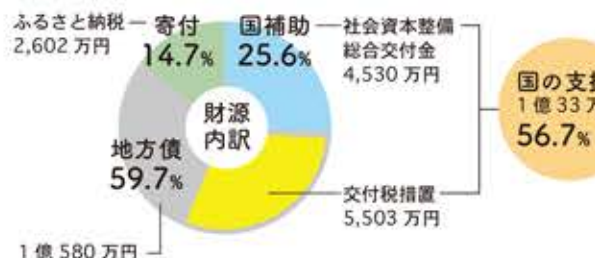
水害時、防災の拠点となる役場に、緊急時の一時的な避難場所として全国初の水害避難タワーを建設しました。このタワーは、役場本庁舎3階部分と連結することにより、約1,000人を収容できる施設となります。

平成20年9月内閣府発表のシミュレーションによると、利根川等が決壊し大規模水害の恐れがある場合、町内で8割が避難し、2割が取り残されると約800人が命の危険にさらされるとの結果が出ています。今回の水害避難タワーの建設により、利根川決壊時の最大浸水深にも耐えうる施設で、逃げ遅れの課題を解決するとともに、2階部分に備蓄倉庫を設置することで避難者の安全と安心が確保されることになります。

また、役場地下に設置されていた非常用電源設備についても、浸水しない高さに新たに設置することで、洪水災害時においても役場本部機能を維持することが可能となりました。

水害避難タワー 約200人 + 役場庁舎 約800人 = 一時避難 約1,000人を収容

事業名	境地区指定緊急避難場所整備事業
総事業費	1億7,712万円
財源	社会資本整備総合交付金、地方債、ふるさと納税
事業期間	平成29年5月～平成30年6月
設計監理	株式会社 楠山設計
施工	株式会社 新井建設工業



建設風景 (平成30年5月)

冠水時でも災害対策本部として機能

一時避難
最大1,000人

非常用電源を
設備

備蓄倉庫を
設置

屋上から
レスキュー

避難棟



境町役場の想定される最大浸水深は、国交省利根川上流河川事務所の最新の試算で7.15mとされていることから、避難場所及び非常用電源設置箇所の高さを8m以上としています。

建築面積	139.27㎡
延床面積	320.61㎡
2階	避難場所・備蓄倉庫・庁舎連絡通路
3階	避難場所
屋上	レスキュースペース
最高高さ	13.6m
収容可能人数	約1,000人(庁舎内+タワー)
構造	鉄構造

発電機棟



建築面積	28.22㎡
用途	非常用電源機架台
出力	100KVA
電圧	200V
燃料	軽油
最高高さ	8.55m
構造	鉄構造



施設内容

屋上 レスキュースペース



水害避難タワー屋上に設けられた緊急救助用スペース(Rマーク)。ヘリコプターで救助活動を行い、避難場所へ移動します。

2階 備蓄倉庫



2階部分に約10畳スペースの備蓄倉庫を設置。2日分約200人分の水、食料、毛布、タオル等を保管。

2階 庁舎連絡通路



タワーの2階と役場庁舎の3階部分を連結することにより、最大1,000人まで一時的に避難できます。

発電機棟 非常用電源

地下から
屋上へ



役場の地下に設置されていた非常用電源を水害避難タワー隣接の発電機棟に新たに設置。洪水浸水時の電源問題を解消しました。